

アメリカ入国禁止令と眠っているクリスチャン

今日の聖書預言アップデートでは、全てのものが、どれほど早いスピードで動いているかについて、お話ししたいと思います。トランプ大統領就任によって、全世界が沸点に達しつつあると私が思う事について、説明します。現在、世界中で、特にアメリカ合衆国で起こっている事の、表面を全て削いでいくと、その核にあるのは、クリスチャンとユダヤ人だと言う話を先週しました。それが全てです。政治的な事をすべて取り除いて、皮をむいていけば、それが残るのです。世はどんどん神の民に対する敵意を増しており、また、終わりの時に世はこのようになると、私たちは伝えられています。ユダヤ人とクリスチャンに対してです。みなさんも同感だと思いますが、トランプが就任して以来、地政治的に、預言的にもすべてがものすごい速度で加熱していると感じます。また、決まり文句で申し訳ないのが、私、個人的に信じているのは、「まだまだこれからだ」という事です。実際、これはほんの始まりに過ぎないでしょうが、ワシントン州の裁判所の事を、みなさんも聞いているでしょう。私が育った場所です。トランプの一時入国禁止命令について、地方裁判所がそれを覆す判決を出しました。驚きはしませんが、この判決を出した第九巡回裁判所が、アメリカ合衆国の中で最もリベラルな裁判所である事を、確実なものとししました。その為、アメリカの最高裁判所は、第九巡回裁判所の全判決の内、90%を覆しています。これに関して、注意深く見ていた人は気づいていると思いますが、このリベラルな裁判所から出された判決についてです。基本的にこの判決を下した3人の裁判官は、法律は、トランプが行った一時入国禁止命令をアメリカ大統領が実施することを、実に明確に認めています。ちなみに、誰も口に出して語りませんが、レーガンも行いました。ブッシュ、クリントン、そしてオバマも行いました。でも、これについては誰も話しません。

Fox ニュースで Napolitano 判事、(間違いなく彼は、現在最も法に明るい人でしょう) その彼の発言を引用します。

「裁判所が、このような事をするのは、明らかに間違っている。」

「憲法は外国政策の決断を、大統領にだけ任命しており、議会でさえ、支持する役割でしかない。」
Napolitano が続けて言うには、

「これは、第九巡回裁判所が生み出した、頭を使った不正な試みでしかない。なぜなら基本的にこれは、アメリカ合衆国大統領に代わって、三人判事によって行われた事で、憲法は、明確に、対外政策の権限を大統領のみに与えている。よって、これは非常に大きな間違いである。」

非常に大きな間違いと言えば、“偽ニュース”を放出している機関は、残念なことに、入国禁止令に関して、嘘を放出する事が常識となっています。ホワイトハウス政策担当部長の Stephen Miller は、Fox ニュースの Sean Hannity に言いました。

「ドナルド・トランプの入国禁止令に関する記者会見を報道しているメディアのやり方は、はっきり言って卑劣だ。彼らは、トランプの法にかなった必要な、完璧な合法措置を、湾曲して伝えた。我々は、個人が過激化し、次から次へとテロリスト集団に加わる例を、何度も目撃している。」

「現実には、この国全体で、警察や捜査当局者にとっては、テロ攻撃を捜査し防ぐのは日常のものとなって

おり、それは、そもそも我々が、これらの人物をこの国に入れた事が始まりだ。」

「先生、そんなこと言わないで！」

「私たちは、彼らを迎えなければなりませんよ！」

「彼らは難民なのだから！」

「安全の為に！」

という人が居るかもしれません。

Miller氏はまた、トランプの大統領命令である、一時入国禁止命令の実施を停止させた、James Robards 地方裁判所判事の決断を、“司法積極主義”と呼び、バッサリと切り捨てました。ところで、この為に現在、大量に難民が流れ込んできていますよ。後でお話しますが。

Miller氏の発言を引用します。

「選挙によって選ばれていない判事には、アメリカ合衆国全土の移民法と政策を書き替える権利はない。」

よく考えてください。これは、我々が先週、この国で目撃した最も阻害な形相です。アメリカ合衆国の大統領による法的命令を、3人の判事が覆すことが出来るのです。一方的に、勝手に、リベラルに、不当に！！みなさん、立ち止まって考えるべきですよ！！よく考えてみてください！！この判事は、我々が選んだのではない。彼らの名前すら知りません！投票用紙にありませんでしたから。どこの誰だか皆さんはご存知ですか？知りませんよ。

Miller氏は続けて言います。

「これは、3億人のアメリカ国民と、正常に指揮されていない出入国管理制度の結果、長期にわたって何億ドルも費やさないために、厳しい審査をすることに投票した人々の前に置かれた問題だ。」

これはまだ優しい言い方です。トランプがツイッターで良い事を言っていました。

ところで、トランプはなぜツイッターで投稿するのか、理由はご存知ですね？偽ニュースメディアを回避する為です。実は、私はトランプをフォローし始めました。念の為みなさんにお伝えしておきます。私は、ツイッターで、それほど多くの人をフォローしていません。そして、なぜトランプをフォローしたかと言うと、もう、Foxニュースを信用できないからです。先々週も、書齋に座っている時、Foxニュースがかかっていて、その時出ていたのはShepard Smithです。その事自体が多くを物語っていますが。彼が言ったのは、

「トランプが、イスラエルに入植を止めるようにと警告した」

私は「ちょっと待って！何！？」「何だって？！」と思ったのです。これに関しては、先週お話ししました。あれは、偽ニュースでした。完全に、メディアが言いたい事を放出したもので、それは、常に反トランプ主義、反ユダヤ主義、そして、反クリスチャンです。

という事で、これが木曜日に報道された時、私はツイッターを調べたのです。この一時入国禁止に関する、最も墮落した中傷投稿を予測しながらです。すると驚いたことに、実はこれが良い意味での驚きでした。トランプを支持している投稿が、いくつもあったのです。思わず、ハッシュタグが間違っていないか

確認しましたよ。ちまたで出回っている事を調べていたら、ある投稿を見つけたのです。それはヨーロッパでのデモで、人々が持っている看板には、「トランプは正しい！」と書かれていました。そして、「女性がレイプされているのに、私たちは黙っていない！」と。みなさん、ヨーロッパで何が起きているか聞いていますか？こんな皮肉を言って申し訳ないですが、イスラム教徒が、同化するために、ヨーロッパに入っていると思いますか？彼らの目的は、破壊以外のなにもない事をご存知ですか？その写真を見たいですか？見るに耐えかねますよ。言っておきますが、本物の写真です。「難民大歓迎！」と書いた看板を持っているヨーロッパ人の写真ではありません。ヨーロッパでは、彼らはもうそんな事言っていませんよ。フランスでも、ドイツでも。今日、私が目にした記事は、深く調べる時間がなくて、ニュースの信ぴょう性を調べるのがどんどん困難になっていますが、アンゲラ・メルケルが、これらのイスラム移民たちに、お金を払うから出て行ってくれと言っている、というものでした。

写真の補足には、こう書かれていました。

「中東難民が、ヨーロッパ中でレイプしている中、何千人もの人が町中に出て、反イスラムの抗議デモを行った。」

これ、私たちは目にしていませんよね？どうして知らなかったんでしょう？言うまでもなく、CNNです。また、CNN の名誉のために言えば、FOX ニュースも報道していません。ソーシャルメディアだけです。

写真をご覧くださいませ。これもまた、恐らくアメリカのニュースでは目にしていません。



きっと、こんな風に言っている人が居るでしょう。

「まったく、ここはアメリカだぞ！」

どれぐらいの人が、インタビューで言うのを耳にしたでしょう。

「トランプがしている事は、アメリカの精神に反する」

そうですか？そういう人が、この写真を見て言うのは、

「それは、あちらでの話だ」

「そんな事、ここアメリカでは絶対に起こり得ない。」

みなさんも、そう思いますか？ここアメリカにいる私たちが、これが、アメリカに起こるとは、信じていないとすれば、偽りの父である、悪魔自身から出た嘘に、欺かれているという事です。テサロニケの教会に対して、パウロが書いたことを思い出します。神が、偽りを信じるように送り込まれる、惑わす力。これが、面白いほど、実に詳細に書かれているのです。

“それゆえ神は、**彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。**” (第二テサロニケ 2:11)

ただの嘘じゃなく、“嘘の中の嘘”です。では、“嘘の中の嘘”とは何か？これが、“嘘の中の嘘”の一部である事は、確実でしょう。真実は、イスラム難民は、唯一の目的をもってアメリカに“流入”している。

“アメリカを支配”つまり、シャリア法（イスラム法）。ミシガン州の Dearborn に行ってみてください。いや、行っちゃいけません。これも数あるうちの一つです。私たちの教会の仲間にも、素晴らしい警察官が居て、彼らは私の友達です。警察官のみなさんは、ミシガン州 Dearborn には、絶対に行かない様に。そこは、みなさんの管轄外です。何故かと言えば、そこはアメリカの法律下にはなく、シャリア法（イスラム法）に支配されていて、無法地帯なのです。アメリカ国内で、起こり得ないと思いますか？

「先生、恐怖を煽らないでください」

そうでしょうか？そうですか？みなさんは、私が被害妄想だと言うかも知れません。しかし、これは被害妄想でなく、慎重なのです。慎重に識別するのです。そして、実際これは健全な恐れです。

先週もお話ししましたが、もう一度お話ししたほうが良いようです。なぜ、イスラム教徒は近隣のイスラム国家にいかないのか、自問自答してみたことがありますか？どうして彼らは、アメリカをそれほど憎んでいるのに、アメリカに来たがるのか？「アメリカに死を！」と唱えながら。ところで、彼らは「アメリカに死を！」と、アメリカ国内で唱えていますよ。信じませんか？その内分かるでしょう。もうすでにニューヨークで起こっています。イランだけではありません。何年目だったか忘れましたが、彼らはつい先日、イラン・イスラム共和国の記念を祝って、そこでも彼らは、「アメリカに死を！！」と叫んでいましたね。「アメリカは、大きなサタンだ！！」なら、なぜここに来たいのか？！本当に教えてくださいよ！アメリカがそれほどまでに悪いなら、どうしてアメリカに来たいのか！

私は知っていますよ。なんで彼らは、アメリカに来たいのか、私は知っています。

もう一つ聞かせてもらいます。どうして彼らは、サウジアラビアには行かないのか？

サウジアラビアの写真をお見せしましょう。これはサウジアラビア国内で、3百万人の難民を快適に住ま



わせる事の出来る施設です。電気、下水管設備完備、空調設備まで整っています。砂漠では必要ですからね。問題はここです。これらは、毎年、年に1回のラマダンの時以外は、年中空っぽです。どうして彼らは、あそこに行かないのですか？なぜ行かないのか、教えてあげましょう。彼らが、サウジアラビアに行かないのは、サウジアラビアがすでにイスラム国家だからです。どういう意味か？つまり、彼らがアメリカに来たいのは、アメリカをイスラム国にする為です！みなさん知っていましたか？

イスラムの目標は、クリスチヤンの教会に、イマム（指導者を意味するアラビア語）を置くことだと知っていましたか？そこでコーランを教えるのです。さらに、彼らはすでに現在アメリカのいくつもの教会で、それを達成していると知って、みなさん驚きますよ。「Chrislam」で検索してみてください。CHRISLAMです。

これは、キリスト教とイスラムのハイブリットです。「我々はみんな、同じ神を拝んでいるんだ！！」と。

移民禁止令と言えば、ユダヤ人は、これらの国に入れないことをご存知ですか？ちなみに、私がエジプトに行った時、今からずっと昔の1990年代でしたが、妻と一緒に行って、ピラミッドのあるギザに住んでいる叔父の所に滞在していたのです。当時、私はポケットサイズの聖書をおしりのポケットに入れていました。叔父は私に、「早くその聖書を片付けるんだ。ここでは、そんな風に公共の場で聖書を見せてはいけない。」と言いました。そして、1997年にはヨルダンで、私の従兄弟が私と妻をペトラに連れて行く道中のアマンで、昼食にシュワルマサンドイッチを買いに行ってくれたのです。ところで、シュワルマを食べた事の無い人は、人生を損してますよ。これがものすごくおいしいのです。ということで、彼が昼食のサンドイッチを買いに行き、私と妻は、お互いに愛情を示しあっていて、彼女にハグをしたり、キスをしたりしていると、私の従兄弟が店から駆け出してきて、アラブ語で叫んでいるのです。だから「何

があったんだ?!」と聞くと、「店の中のアラブ人たちが!!それは禁じられているんだ!!」「それは禁じられているんだ!!」「だから、彼らが暴動を起こそうとしている!!」私は、「ほんとに?!」と。私は、アラブ人でアメリカ人の妻がいます。これは禁じられているのです。

とにかく、こちらがユダヤ人の入国禁止国のリストです。

サウジアラビア、イラン、イラク、イエメン、リビア、シリア、アルジェリア、ブルネイ、クウェート、私の出生地のレバノン、オマン、パキスタン、マレーシア、バングラディッシュ、アラブ首長国連邦です。もしあなたがユダヤ人なら、これらの国には入れません。さらに私は、クリスチャンでも、これらの国に行くことは、お勧めしません。私は、自分の出生地のレバノンには行けません。私には危険だから、行けないのです。

Jan Markel のラジオ番組「時を理解する」で、元ミネソタ代議員のミシェル・バックマンは、これらのイスラム移民を“計画的侵略”と呼び、この計画的侵略の目的は、西側のキリスト教国家を滅ぼす為だと言いました。彼女の言葉を紹介します。

「私たちは、これらの大量移民、人々の大移動を目撃しました。イスラム教徒による、イスラム諸国からの歴史的な大移動です。最もイスラム化された国々から、西側キリスト教国家で知られる国々への移動です。みなさん、これらの大量移民が、ロシア、中国、またはインドネシアへ流れ込むのは見ないでしょう。これは、計画的侵略なのです。ヨーロッパだけでなく、アメリカ合衆国に対してもです。私はこれには、西側のキリスト教国家を破滅させると言う、特定の目的があると信じています。なぜなら、それが、世界を経済的に強化してきただけでなく、西側キリスト教国で知られる国々の指導者たちも、強化して来たからです。」

みなさんご存知ですか? コーランでは、イスラム教徒たちは、ユダヤ人とクリスチャンとは、絶対に友達になってはいけないと命じられているのです。実際は、インフィデル（異教徒）、書の人々の首をはねるように、命じられています。“書”とは何か? この“聖書”です。ユダヤ人とクリスチャンです。

このイスラム難民の移民は、これまでも、現在も、そしてこれからも、“トロイの馬”であると私は思います。イスラムのテロリストが、自分自身を“難民”という木製の馬に隠しているのです。

そして、面白いと思ったのが、シリアの大統領、バッシャール・アサドの発言が全てを物語っています。先週、ダマスカスの大統領邸宅で行われた、ヤフーニュースの単独インタビューで、アサドは言いました。

「トランプ大統領の、大統領命令の一部である、彼の国（シリア）からの難民認定の凍結は、抗議デモを広範囲に拡大し、連邦裁判所は、アメリカの問題のどちら側に立つのかの判断に苦しむだろう。」

しかし――

「これら逃れたもの達の幾人かは、テロリストと同じ立場にあるのではないのか?」という質問に、アサドは即答して言いました。

「まったく、その通りだ。」

アサドは、続けて言いました。――

「これら、シリア国内のテロリストは、機関銃を持ち人々を殺しているが、ヨーロッパや西側では、“平和な難民”に見せかけている。」

「それが何人いるのか、予測は出来ないが、残虐行為を行うのに、大勢は必要ない。数の問題ではなく、(これがすごく面白いのですが)、質の問題、意図が重要なのだ。」

「意図」ですよ。彼らの意図は何ですか？彼らは、ここアメリカで、何をしようと意図しているのですか？彼らの意図は、アメリカをアッラーと、アッラーの預言者ムハンマドに服従させる事。これが、彼らの意図です。

最後に、まとめに入ります。黙示録 12 : 12 には、こう書かれています。

“悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである。” (黙示録 12:12)

これで、多くの事に説明がつかますよね？なぜ物事が、どんどん白熱して行っているのか。なぜ、物事が「加速度」を増しているのか。私はこの言葉をわざと使いました。多くの人が理由をご存知ですね。黙示録 2 2 章でイエスは言われました。

“見よ。わたしはすぐに来る。” (黙示録 22:7)

この、“すぐに”の部分に使われているギリシャ語は、「TACHOS」で、ここから英語のタコメーターが由来しました。毎分ごとの回転数、RPM を表します。つまり、時は設定されていて、増加するのは回転数。そして、イエスは言われたのです。「見よ。わたしは物事の加速度が増した時に来る。」

サタンは知っているのです。事実、物事を加速させているのは、サタン本人ですから。彼は、自分に残された時間が短いのを知っているからです。

しかし、悪魔は全知でないことを理解しておくのは、とても重要です。彼は全知ではない。サタンは、始めから終わりを知っているではありません。彼も被造物なのです。彼は、全知、全能、遍在の神の真逆ではないのです。サタンは、携挙がいつか知りません。その日、その時を知りません。しかし、彼は、それがどれほど近いかを知っているのです。そして、頑張らないといけない事も知っており、だから、彼は頑張っているのです。だから、彼は常に備えておかなければならないのです。彼は知らないから。彼が知っているのは、ただ時間が短い事、彼に残された時間が少ないという事だけです。

残念ながら、現在多くの教会で、これが語られていません。現在のアメリカの教会と、教会にいるクリスチャンは、残された時間がどれほど短いのか、知っているのでしょうか。我々は、今が人類史の終わりの時だと自覚して、目を覚ましているのでしょうか。今は終わりの時なのです！

「でも先生。ずっと何年も同じことが言われていますよ。」

「全ての世代が、自分たちの生きているうちに、イエスが来られると思っていましたよね？」

それに関して、ペテロが語っています。実は、それをいう事自体、預言の成就なのです。

“終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、次のように言

うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。父祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。」(第二ペテロ 3:3-4)

そう言って彼らは、イエス・キリストの教会の携挙を待ち望み、目を見張っているクリスチャンを嘲笑います。そして、あなたも笑われる。みなさんも、その事でバカにされるのです。その事で、激しい非難を受けるのです。

「彼は、帰って来やしないよ。」

「みんな、帰ってくると思ったんだ。」

そして、教会は霊的な目覚まし時計を止めて、また眠ってしまうのです。

その理由を聞かれるなら、私はこう答えます。現在の教会は、霊的に眠っている。こう考えてみてください。私たちは肉体的に眠っている時、周りで起こっている事が分かりません。特に、熟睡する人は、ご自分でわかるでしょう。私はそのタイプではありません。ともかく、肉体的に寝ている時、周りの状況が分からないのと同じで、霊的にも、眠っていると、周りの状況が分からないのです。なぜクリスチャン達は眠っているのか？それは、教会が眠っているからです。もし、教会にいるクリスチャンが眠っていなければ、クリスチャンは眠っていないのです。ローマ人への手紙 13:11-14 で、使徒パウロは、ローマ教会に対して、このように言っています。

「起きろ！」「起きなさい！！」「もう起きる時間だ！目覚ましが鳴っている！」「もう寝てはいけない！」

“私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。”(ローマ 13:11)

“やみのわざを打ち捨てて” (ローマ 13:12)

本気になる時です。“やみのわざ”とは何ですか？

“遊興、酩酊、淫乱、教職、争い、ねたみの生活ではなく、昼間らしい、正しい生き方をしようではありませんか。”

“主イエス・キリストを着なさい。肉の欲のために心を用いてはいけません。”(ローマ 13:13-14)

つまりパウロは、御霊の中で歩めば、肉の欲を満たす事はないと言っているのです。

「御霊の中で、忙しくしなさい。」と。

もし、御霊の中で忙しくしていると、霊的に目覚めていると、肉にかまっている時間は無いのです。肉の事に興味がなくなるのです。聖霊に満たされ、満ち足りて入れば、この世のものに飢え渴くことはないのです。そして二番目の問題は、人々が、この世のものに囚われ過ぎている。この世のものに、あまりにも深く根を下ろしている。

一つお聞きします。みなさんは、クリスチャン仲間、キリストにある兄弟姉妹と話をしている中で、携挙について話した時、相手の顔がさっと変わったという経験はありませんか？その瞬間に、その人たちは携挙に関して、全くワクワクしていないんだと悟るでしょう。私にとって、これは非常にきついのです。私の人生の中では、携挙にワクワクしない人が居るなんて、想像できないから。だから、主に訊ねたのです。

「主よ、いったいどういう事ですか？」本当のクリスチャンなら、携挙にものすごくワクワクするはずで

しょ？一日中、それについて話したいと。私みたいに…、みなさんの中の何人かもそうでしょうか？でも、そうでないのです。そこで、唯一私が思い当たったのは、彼らの宝が、天ではなく、この地上に積まれているからだ。イエスは、こう言われました。

“あなたの宝のあるところに、あなたの心もある。”（マタイ 6:21）

あなたの宝が天にあるなら、あなたの心もそこにあります。パウロがテモテに言いました。「携挙（主の現れ）を慕っている者には、だれにでも、栄冠を授けてくださる。」（第二テモテ 4:8）知っていましたか？どんな冠か、とても楽しみです。絶対にかっこいいと思いますよ。と言うと、皆さんの中には「冠？！本気でそう思っているのか？」と思う人が居るでしょう。いいですか？言っておきます。あなたも、絶対にこの冠が欲しくなりますよ、絶対に欲しくなる！

しかし問題は、クリスチャン達が、世と世にあるものを愛し、そして“靈的障害”に陥っている。靈的に不自由になっているのです。どういう事か？つまり、身体的な障害があるように、靈的な障害もあるのです。神の事に関して、靈的に障害があるとでも言いますか。これについては、使徒ヨハネがヨハネの手紙第一に書いています。

“世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。”（第一ヨハネ 2:15-16）

そして、大切なのはここです！準備は良いですか？言いますよ？いいですね？

“世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。”（第一ヨハネ 2:17）

もしかしたら、今日ここで、これに関して、クリスチャンとして、聖霊が心に訴えかけている人がいるかも知れません。もしかしたら、この世や、この世のものへの執着に気づいたかもしれません。と言っても、この世のものを持つなど言っているのではなく、ただ、この世やこの世のものに、所有されるなど言っているのです。あなたの心をつかんでいるのは、何ですか？ガレージにあるものですか？銀行口座にあるものですか？あなたの心には、何がありますか？あなたの心は、どこにありますか？もしかしたら、今日主は、あなたに改めて、新たに、全てを主に託してほしいと願っておられるかも知れません。全てをです。ぐっと握りしめている手を緩めて、手のひらを開き、腕を広げるのです。こうしている間にも、聖霊が、あなたに訴えかけているでしょう。あなたの人生においては、それは何なのか。あなたの人生の中で、主に捧げるべきもの、主に取って代わっているものは何か。

これまでに、一度も主を呼び求めた事のない人に伝えます。主は、あなたの心を見られます。私たちには、皆さんの外見しか見えていませんが。ちなみに、みなさんとても素敵ですよ！

主は、あなたの心を見られます。そして主は、あなたの心をご存知です。第二コリント人への手紙で、パウロが書いているように、私があなた方を愛している事は、神はご存知です。（第二コリント 11:11）主は、

今日、あなたの心をご存知です。そして、主は今日、あなたの心を見られます。今日、あなたが主に心を開かれるように祈ります。主の御名を呼び求めて救われますように。ほんの少しでも疑いがあるなら、今日、ここを出る前に、はっきりとさせておくべきです。先延ばしにしてはいけません。1つ聞かせてください。もし、あなたが今夜、死ぬとして、あなたは自分が確かに天国に行くと言えますか？主のみもとに行くとは？

「分からない。」「そう願うけど…」

ヨハネは、永遠のいのちを持っている事を、あなたは知る事が出来ると言いました。(第一ヨハネ 5:13) 疑いの余地はないはずです。パウロは、「肉体を離れて、主のみもとに行く」と言っています。救いの保障があるのです。これは祝福された保障、祝福された希望です。そして今日、あなたも神の権威、イエス・キリストの福音によって、一切の疑いなしに、自分が救われていると確信して、ここを出る事が出来るのです。福音とは何か？それは、イエス・キリストにある救いの良い知らせで、実にシンプルです。子どもにでも分かります。

これは私たちが毎週伝えている、「救いのABC」です。これが実に簡単で、私は大好きです。クリスチャンとして、みなさんもこれを使って、他の人に伝える事が出来ますよ。救いが複雑なものではなくて、良かったと思いませんか？私でも出来る。もし、救いが物理や、方程式にかかっているなら、私は終わっていますよ！私はアウトです。でも、そうじゃない。とても簡単です。

A=Admit (認める)

自分が罪人であることを認める。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受ける事ができず” (ローマ 3:23)

みんな罪を犯したのです。そして、的を外してしまった。これは、アーチェリーの表現で、神の義の定義という的を、我々全員が外してしまったのです。我々はみんな、罪を犯し、我々はみな、栄誉から漏れてしまった。一旦、自分が罪人で、救世主が必要だと認めたら――、

B=Believe (信じる)

次は、イエス・キリストが主であり、主我十字架にかかり、葬られ、3日目に死からよみがえった事を心で信じるのです。

イエスが、あなたの罪の対価を全額贖い、そして死からよみがえったと心で信じる。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10:9)

C=Call (呼び求める)

次にCは、単に主の御名を呼ぶ(Call) のです。ローマにはこうあります。

“主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。” (ローマ 10:13)

「先生、毎週同じことを言っていますよ。」

私は、毎週毎週言い続けますよ。使徒パウロも言ったように、私も「今していることを今後も、し続けるつもりです。(第二コリント 11:12)」これからもし続けます。いつか、手遅れになる日が来ますから。その時、私はここには居ません。みなさんも、ここに居るべきではありませんよ。神のラッパが鳴った時、

“それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。”(第二テサロニケ 4:16-17)

ちなみに、使徒パウロはテサロニケの教会に、こう言ったのです。

“このことばをもって、互いに慰め合いなさい。”(第二テサロニケ 4:18)

クリスチャンの中には、世界中で起こっている事を見て、憤り、悲観し、怒り、落ち込んでいる人が居るのは、私もある意味理解していますよ。そして、自信を無くしている。これらの事が、嘆かわしいのは分かります。それでも、どれほど力が湧いて来るでしょう。ワクワクするじゃないですか。実にワクワクしますよ。私たちは、すごい時期に生きているのです。

と言ってもね、「おい！イスラムがのっとして、シャリア法が支配してるぞ。斬首だ！主を賛美しよう！」なんてことは言いません。違いますよ！そんな事は言っていないよ。私が言っているのは、イエスが言われた通り、

“そして今わたしは、そのことの起こる前にあなたがたに話しました。それが起こったときに、あなたがたが信じるためです。”(ヨハネ 14:29)

“これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにし、頭を上へ上げなさい。贖いが近づいたのです。”(ルカ 21:28)

私は、贖いが近づいたと信じています。そしてもし、あなたが主を知らないなら、今までに一度も主の御名を呼び求めた事がないなら、今日が、あなたの救いの日になるべきです。手遅れになる前に、そうされますように。

祈りましょう。天の愛するお父様。聖書預言に感謝します。私たち信じる者には、あなたが、終わりの時に起こると言われた事が起こり始め、さらには、成就しつつあることが分かります。主よ。私たちは天を見上げ、贖いが近づいたことに期待して、この下の世への執着を手放します。主よ。もし今日、この教会の中、もしくは、これをインターネットで観ている人の中に、これまでに、あなたを呼び求めた事の無い人がいるなら、どうか今日、彼らがあなたに心を開きますように。そして、救われるために、あなたを呼び求めますように。救いの保障を得ますように。主よ。永遠のいのちという、無償の賜物に感謝します。あの十字架上で、全額を贖ってくださいました。イエスの御名によって。アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい